



『～より質の高い公共調達を目指して 良い仕事をした者が報われる仕組み作り～』

－記者発表資料－

平成25年3月13日

四国地方整備局

## 平成24年度 第4回

## 四国地方整備局総合評価本局小委員会の開催結果

### ●平成24年度第4回四国地方整備局本局小委員会の開催結果について

平成24年度第4回四国地方整備局総合評価本局小委員会を平成25年3月7日に開催し、平成24年度の総合評価方式による本官契約の工事について提示し、その中から委員により抽出していただいた代表工事3件について具体的な総合評価内容の説明を行い、ご意見をお伺いしました。

また、平成24年度の総合評価方式、プロポーザル方式による本官契約の建設コンサルタント業務等について提示し、ご意見をお伺いしました。

これらの意見を参考に、総合評価方式等の審査又は評価が、より一層中立かつ公正に行われるよう今後とも努めて参ります。

### 【主な意見の概要】

- ・技術提案評価のあり方について、引き続き分析を行い、適切な執行に努められたい。
- ・施工体制評価については、今後とも実態把握に努め適切に対応されたい。
- ・オーバスペック問題の実態を把握し、今後とも適切な評価に努められたい。
- ・品質確保については、過去の実績や工事成績が大きく寄与していると思われるため、発注タイプ及び評価項目毎の分析を継続し、今後の利活用に繋げて欲しい。

### 本局小委員会の概要

1. 日時：平成25年3月7日（木） 10:00～12:00
2. 場所：高松サンポート合同庁舎 13階 1307会議室
3. 出席委員：山中英生委員、那須清吾委員、高塚創委員
4. 議事次第・・・別紙－1
5. 議事概要・・・別紙－2

<問い合わせ先> 国土交通省 四国地方整備局 企画部

技術管理課長 石田 和敏 (内線3311)

技術管理課長補佐 門田 隆志 (内線3314)

日時：平成25年 3月 7日（木）10:00～12:00

場所：高松サンポート合同庁舎1307会議室

## 平成24年度 第4回 四国地方整備局総合評価本局小委員会

### 議 事 次 第

#### 1. 開 会

#### 2. 報告事項

- 1) 平成24年度の総合評価落札方式による契約結果等について

#### 3. 審議事項

- 1) 平成24年度の適用工事・業務（本官契約）について
- 2) 具体事例について
  - ・平成24－26年度 前山トンネル工事(道路部)
  - ・平成24－27年度 鹿野川ダムトンネル洪水吐呑口ゲート設備工事(企画部)
  
  - ・室戸岬沖GPS波浪計測設備設置等工事(港湾空港部)

#### 4. 閉 会

# 平成24年度第4回四国地方整備局総合評価本局小委員会 開催結果の概要

日時：平成25年3月7日 10:00～12:00

場所：高松サポート合同庁舎 13階 1307会議室

**出席委員** 山中英生委員、那須清吾委員、高塚創委員

## I 報告事項

1) 平成24年度の総合評価落札方式による契約結果等について

## II 意見聴取の対象

小委員会の役割が、複数の工事（総合評価方式）及び業務等（総合評価方式、プロポーザル方式）に共通する評価方法及び個別工事、業務等の評価方法や落札者の決定方法に関することに対して意見を聴取することを踏まえ、平成24年度の総合評価方式による工事70件（本官契約工事）について評価項目の内容等を提示。

また、平成24年度の総合評価方式、プロポーザル方式による建設コンサルタント業務等45件（本官契約業務）について提示。

### 【工事関係】

### 平成24年度対象工事

本官（本局）契約工事

H25. 1. 31基準日

	開札済み	手続き中	準備中	合計	備考
標準型（I型）	1件			1件	平成23年度 実施方針
小計	1件	0件	0件	1件	
高度型				0件	4月期 実施方針
標準型（I型）	24件	5件		29件	
標準型（II型）	11件	1件		12件	
簡易型	1件			1件	
簡易型（施工計画を求めない）	16件			16件	
小計	52件	6件	0件	58件	
技術提案評価型（A型）					10月期 実施方針
技術提案評価型（S型）2テーマ	4件			4件	
技術提案評価型（S型）1テーマ	2件	1件		3件	
施工能力評価型（I型）				0件	
施工能力評価型（II型）	2件	2件		4件	
小計	8件	3件	0件	11件	
総合計	61件	9件	0件	70件	

		開札済み	手続き中	準備中	合計
業務	プロポーザル方式	24			24
	総合評価方式	20			20
役務	企画競争方式	1			1
合計		45	0	0	45

### Ⅲ 主な意見の概要

- ・ 技術提案評価のあり方について、引き続き分析を行い、適切な執行に努められたい。
- ・ 施工体制評価については、今後とも実態把握に努め、適切に対応されたい。
- ・ オーバースペック問題の実態を把握し、今後とも適切な評価に努められたい。
- ・ 品質確保については、過去の実績や工事成績が大きく寄与していると思われるため、発注タイプ及び評価項目毎の分析を継続し、今後の利活用に繋げて欲しい。